

第4回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 視察研修

1 日 時 平成27年10月9日(金)

2 視 察 先 愛知県岡崎市、図書館交流プラザ リぶら

3 視察内容 ○図書館交流プラザ リぶら視察
○岡崎市の市民協働推進について

4 日 程

10月9日 (金)	出 発	高速道路	視 察	昼 食
	市民会館第2P 7:00	-----	図書館交流プラザ 10:00-11:30	リぶら -- 大正庵釜春(うどん) 11:45-12:45

	視 察	高速道路	到 着	
	--- 岡崎市 市民協働推進課 13:00-14:30	-----	市民会館第2P 19:00 頃	

5 参加者

氏名	所属
横山 貴子	市民協働型まちづくり推進協議会
小宮山 洋子	
勝又 浩吉	
渡邊 恵子(会長)	
小松 豊	
勝間田 和子	
平野 昭弘	
湯山 有朋	
渡邊 達也	
田代 洋子	
根上 英志	御殿場市民活動支援センター
勝亦 悦子	
三改木 由美	
鈴木 峻介	事務局
寺島 梓	

(合計 15 名)

10月9日(金)岡崎市視察

㊦…視察前所感（参加した理由、聞きたいポイント、得たいもの etc.）

㊧…視察後所感（どうだったか、これからに活かそうな事 etc.）

【委員A】

㊦岡崎市が現在進めている第2期市民協働推進計画の中で、市民協働は自立期と位置づけられている。そのポイントやフローを確認したい。

㊧職員の意識が高いと感じた。市民と行政が力を合わせて活動をしている印象。今後も委員や教授と力を合わせ、発信していきたい。

【委員B】

㊦行政と市民団体の関わり、また事業が終了した後の状況について、他市の事例を通して勉強したい。

㊧施設が充実していた。どちらがいいのかわからないが、岡崎市は行政主導が多かった一方で、市民提案は御市の方が充実しているという印象を受けた。

【委員C】

㊦審査を行う推進委員の立場として、他市がどういう事業に取り組み、またどのような公益性があるのか興味がある。

㊧りぶらなど、色々な要素が一つになっていた。ジャズを中心とする文化的なまちづくりが成熟している。我々も、市民と一緒にやっていきたい。

【委員D】

㊦見るものすべてが初めてで、すべてに興味を持っている。人があって事が始まるので、特に人材育成について興味がある。提案の中で環境が多いようなので、興味がある。

㊧建物が素晴らしかった。あれだけの建物を管理維持するには相当なエネルギーが必要。市民協働という点では御市の方が上だと感じ、御市の良さが認識できた。

【委員E】

㊦自分の団体同様の環境保全活動の内容に興味がある。助成事業のアウトプット、結果について聞きたい。

㊧市民協働は市民主導で行った方がよいと思った。両市の共通の課題が見えた。

【委員F】

㊦団体の活動や意欲が活発であり、驚いている。団体の発起人やまちづくりの意識向上がどのようにあったのか、また市民協働の人材育成をいかに行っているか視察したい。

㊧りぶらがすごかった。部分によって、市の運営とそれ以外の運営と棲み分けされていた。御市でも、地域の中から活動を広げていく団体や人材が増えていけば。百聞は一見に如かずであった。

【委員G】

㊦今年度から委員になった。昨年まで区長をやっており、お互いの立場を理解する理念で活動してきた。自宅周りの町内会は、災害の際など非常に有効に働く。まちづくりを通しお互いの関係性が深まっていく事例を視察したい。

㊧若い世代と現役を引退した世代が一緒になって肩を寄せ合っていきたい。

【委員H】

㊦支援センター関係でいうと、登録団体は人口比で御市も岡崎市も同様である。岡崎市では、登録団体に年1回の報告を求めるとあるが、多数の報告をどのように活用しているかを視察したい。また、まちづくりの助成は事業の50%を対象としているが、どのように運営されているのかを勉強したい。

㊧人口規模が違うが、御市も同様に取り組んでいる。行政が積極的であった。御市はNPOが多いが、まちの活性化に取り組む団体が多い。今後どのように取り組むか考えたい。

【委員I】

㊦御市では、第3次総合計画の満了に合わせ、4次計画の作成を昨年からやっている。地方創生が叫ばれる中、地方のにぎわいを作り、地方から日本を元気にするためにのキーワードは「市民協働」である。また、岡崎市は家康没後400年の祭典を広域で行っているが、御市も来年そういった祭典を行う予定なので、岡崎市が市民協働の観点からどのように盛り上げているのかを視察したい。

㊧市民協働というテーマが今後は鍵になっていく。岡崎市の課題を聞けたので、御市の取り組みにつなげていきたい。

【委員J】

㊦現在の自分の仕事内容と市民協働は対極にあるので、原点をもう一度見直したい。御市の提案事業は環境や文化分野が多く、福祉分野が少ない。岡崎市は福祉分野が多いので、どのように活動しているのか勉強したい。また、図書館を中心に活動している様子を視察したい。

㊧リフレッシュした。金の力ではなく人の力でまちづくりを実践していた。御市は市民のレベルが高いと感じた一方で、行政が追い付いていないと感じた。市民のパワーをいかに取り入れていくかが課題。

【委員K】

㊦岡崎市のセンターが、日頃どのような運営を行っているのか。また普段の相談内容を知りたい。

㊧市民活動室の利用向上を図り、ボランティアコーディネーターとしての質を上げていきたい。

【委員L】

㊦御殿場以外の支援センターを見て、雰囲気や広がりを見るところから勉強したい。

㊧御市との違いとして、無料のパソコン利用は大人限定とし、利用者にとって使いやすい環境になっていた。単純に比べられないが、ほかの支援の場を見ることができてよかった。

☆午前(りぶら・文化活動推進課)

【岡崎市】

りぶらは7月に、開館後100万人の来場者を迎えた。560の市民活動団体が拠点として活動している。平成12年以前は美術館と併設していた。現在、8つの会議室と印刷・作業室、6つのスタジオがある。

りぶらの建設に伴い、窓口として設置されたのが文化活動推進課で、市民活動団体や指定管理を担当している。「Lita(りた)」が5年7億円で5つのセンターの指定管理者となっている。一方市役所に拠点がある市民協働推進課は条例、地域支援(自治会)、計画、審議会などを担当しており、両課合わせて地域の課題解決を図っている。また、女性の活躍という視点で、男女共同推進事業に団体を取り入れ、コラボを図っている。いかにして女性が地域に進出できるかが課題なので、今後も進めていく。

おもな質疑応答

【委員H】登録団体が提出する公益活動報告書は、全団体が出しているのか。また、どのように活用しているのか。

【岡崎市】出していない団体は、取り消している。報告書はPDF化して公開している。

【委員E】岡崎市には71のNPO法人があるとのことだが、環境分野はどの程度あるのか。また、それら団体の財政的課題解決や若手の人材育成はどのように行っているか。

【岡崎市】手元にNPO法人限定のデータがない。市民活動団体の中の環境分野は80団体程度。

☆午後(市役所・市民協働推進課)

おもな質疑応答

【委員I】御殿場市でも地方創生にともなう総合戦略の策定を行っているが、市民協働がポイントとなっている。その中で、進学などで若者が流出したり、自治会の高齢化がちらほらあらわれている。若者を呼び戻し、自治会に加入してもらおう工夫はどのように行っているか。

【岡崎市】町内会の役員や構成員が呼びかけを行っている。マンションや流入者が多い所も互いに支え合い、一つの町内会としてみんなの手でやってもらっている。依頼があれば行政も出向き、手伝う。

【委員A】市民協働コーディネーターは、どちらの施設が主体で行っているか。

【岡崎市】りぶらで行っている。

【委員A】岡崎市の市民協働は、第1期市民協働推進計画期間は育成期、現在の第2期期間は成長期とあるが、どのような状況か。

【岡崎市】第1期で残った部分もあり、継続している。今後も市民活動センターの職員がスキルを上げ、安定的にアドバイスをしていく体制を作っていく。

【委員 E】当市では、同じ富士山の環境保護団体でも、植林をする団体と自然に任せ
る団体がある。そのような場合に行政が団体とかかわるとき、行政の方から方向性を
決めているのか。

【岡崎市】自主性を尊重する。アドバイスはするが、命令はしない。情報提供を行い、
あえて「このようにやれ」と指示することはしない。

【委員 H】事業支援型の補助金では、団体に事業費の最大 50%の補助を行っている
というが、状況はいかがか。

【岡崎市】団体にとって 50%の補助は、不満があると思う。自立支援型の補助金と比
べると、確かに少ない。ただ、補助金制度は 3 年に 1 度見直しており、その甲斐もあっ
て増えている。

【事務局】新規採用職員研修は、どのような内容を行うのか。

【岡崎市】職員が講師となり、自治会組織と市民協働について説明している。入庁前
に自治会などで協働を行った経験があるかなどをグループワークで研修している。

【委員 D】市民協働担当はどれくらいの職員がいるのか。

【岡崎市】文化活動推進課(りぶら)は正規が 3 人、臨時が 1 人いる。市民協働推進課
は正規が 4 人いる。

【委員 J】平成 25 年度の行政提案の「りぶらっこ☆ふぁみりー」は、単年度で事業が終
了しているが、どうしてか。

【岡崎市】ママ友ネットワークという組織に委ねられた。中心市街地活性化を目的として、
依然続けられている。

【委員 B】当市では市民提案を平成 18 年から行っているが、岡崎市では行政提案が
充実しているように感じる。それはどのような理由からか。

【岡崎市】以前は市民提案も数があったが、片方に任せっきりになり、十分な協働が
できていなかった。そこで、協働の火を消さないように行政提案を重点的に行ってい
る。